

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
保育実習指導Ⅱ		小原伸子・相良亜希	演習	1	後期
必修・選択	卒業要件	選択			
	資格要件	保育士資格選択必修			
学習目標	保育実習の意義・目的、実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。実習施設における子どもの人権、プライバシーの保護と守秘義務について理解する。実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法について具体的に理解する。実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	実習Ⅰの振り返り（１）	実習Ⅱに向けての課題を探し出す。グループ討議。			
2	実習Ⅰの振り返り（２）	実習Ⅱに向けての個人の課題をまとめる。			
3	日誌の書き方（１）	日誌の書き方の注意事項を体験から挙げる。グループ討議。			
4	日誌の書き方（２）	日誌の書き方の諸注意の解説。			
5	指導案の作成（１）	指導案作成の留意することの解説			
6	指導案の作成（２）	3歳児未満時の指導案を作成する。			
7	指導案の実践（１）	実際に作り、グループで発表しあい、評価しあう。			
8	指導案の実践（２）	実際に作り、グループで発表しあい、評価しあう。			
9	指導案の作成（１）	3歳児以上の指導案を作成する。			
10	指導案の実践（１）	実際に作り、グループで発表しあい、評価しあう。			
11	指導案の実践（２）	実際に作り、グループで発表しあい、評価しあう。			
12	実習に必要な手続き	実習の手続きの流れ、必要な書類について			
13	保育所実習の実際	体調管理、実習の際のマナー、時間厳守、遅刻、挨拶			
14	子どもとのかかわり	観察のポイント、年齢による発達、興味関心			
15	実習の振り返り	実習の整理、日誌の活用、反省会			
参 考 書	山岸美智子編「保育所実習」ななみ書房 2007				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	参考書をよく読んでおくこと。ノートを作ること。				
評価の方法と時期	出席状況、授業への参加度などを総合して評価する。実習可否試験を実施する。60点に満たない者については実習不可とする。				